

## 「事業名：復興知集積による医・環境次世代人材育成（事業全体）」

**新潟大学 連携市町村：南相馬市、大熊町**

**現地拠点：大熊町又は南相馬市に設置予定**

### 事業のポイント

東日本大震災以降、新潟大学は、高度放射線調査、健康支援、農業復興支援、住民との対話や交流などを通じて、福島県浜通り地域との協働による実践的な復興知を蓄積してきた。本事業では、これらの復興知を活用し、持続的発展を支える基盤の構築を目指し、それぞれ南相馬市では出前授業及び交流を通じた次世代教育、大熊町では放射線調査等を通じた実践的人材育成に重点を置いた人材育成プログラムを推進する。

### 人材育成・定着計画及び目標

児童・生徒・住民に大学体験や交流機会を提供し、学習意欲や進路意識を高めるとともに、大学生等の実践力と地域理解を育成する。また、復興や廃炉の現場をフィールドとした学習やインターンシップを実施することで、当事者意識と正しい知識を備えた人材を育成し、関連分野でのキャリア形成を促進する。人材育成プログラムを通じて、地域への理解・愛着を育み、浜通りに定着・関係・交流し、復興を支える次世代人材の育成を目指す。

### 2026年度の活動内容

本事業では南相馬市及び大熊町にて以下のプログラム（A）から（E）を実施する。（D）は2027年度以降からの実施のための準備・調整を行い、それ以外は2026年度から具体的な取組を開始する。

- (A) 浜通りの小学校・中学校での大学出前授業（南相馬市）
- (B) 浜通りの児童及び住民と大学生の交流（南相馬市）
- (C) 特定帰還居住区域等における高度放射線調査（大熊町）
- (D) 浜通りにおける大学院生等放射線計測実習、見学及び対話（大熊町）
- (E) 浜通りインターンシップ（大熊町）

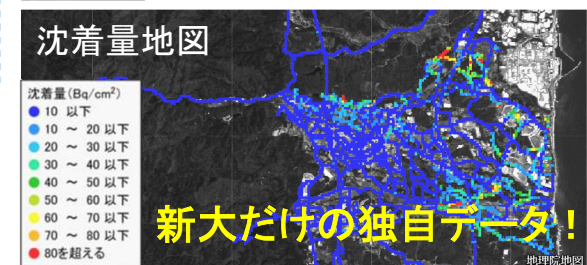
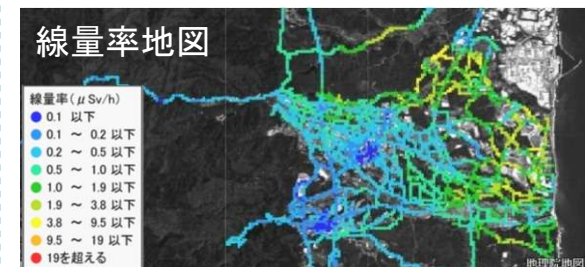
### 取組によって得られる成果

浜通り地域の子供や住民への復興知の継承及び大学生等の実践力向上を図ると共に、放射線に関する調査研究を実施し、地域の課題解決につなげる。得られた成果を世界に発信すると共に、地域と世界に貢献できる次世代人材の育成を目指す。



南相馬市内  
全小中学校対象

小中学校での出前授業



新大だけの独自データ!

線量率・沈着量地図(2025年)